

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人リバーバンク
役職	副代表
氏名	鈴木秀典
着任日	令和5年10月1日

活動月	令和6年3月(着任0年7ヶ月)
主な活動	<ol style="list-style-type: none">1. 原本さん卒隊イベント参加2. 南九州スポーツクラブ受け入れ3. 仏壇パーツ販売mtg4. 枕崎協力隊連携5. ふじ祭りイベント出展6. 空き家リサーチ7. さつま町視察8. 空き家バンクリサーチ9. 都城出展視察10. 茶とまるイベント企画

1. 原本さん卒隊イベント参加

3月で協力隊を卒隊される原本さんのイベントへ参加しました。

着任当初からビジョンを持って動かれている原本さんの巻き込み方はとても参考になり、さらに関係者を広げることができ参加してとても刺激になりました。



2. 南九州スポーツクラブ受け入れ

高田の地域活動から森の学校の利用に繋がった事例。

地域で活動されている団体の受け入れによって普段の活動では話すことがなかった保健体育課との繋がりができ、さらに地域のいろいろな活動を行う人々に森の学校を知ってもらうきっかけをいただきました。8月の本番に向け、これからも実行委員として準備していきます。



地域おこし協力隊活動報告書

3. 仏壇パーツ販売mtg

廃業予定の仏壇工場の活用方法検討から派生した事業。

福岡のマテリアルマーケットが販売先となり、仏壇組合の方々と連携しながら廃業予定のパーツに新しい売り先を見つけ出したプロジェクトを引き続き進めています。



4. 枕崎協力隊連携

地域おこし協力隊の連携から始まった枕崎の協力隊メンバーの報告会への参加。

報告会に参加することで、さとのば大学とのつながりや、枕崎市の議員の方々との話ができ、とても有意義な会になりました。南九州市に大学を誘致する新しい視点をいただきました。



5. ふじ祭りイベント出展

タノカミステーションのお弁当販売で一人で出展したイベント。

観光協会や造園協会との新しいコネクションが生まれ、今後もいろいろなイベントに顔出ししていきたいとお思います。



地域おこし協力隊活動報告書

6. 空き家リサーチ

活動を始めて半年が経ち、個人的に空き家を見て欲しい。活用方法を一緒に考えて欲しいという案件が増えてきています。まだリバーバンク内の体制が整っていないこと、これからの空き家バンクとの絡み方と合わせて、これから空き家の活性化も発展していきそうです。また、空き家を探しているという声も急に3件ほど個人的に相談が来ているので、うまくマッチングをさせていきたいです。



7. さつま町視察

地域おこし協力隊の連携をきっかけにさつま町の取り組みを視察しました。地域産品をPRすることに協力隊を3人配置し、活発な活動をしている事例を見させていただくとともに、廃校活用を行っているきららの楽校の視察をすることで、森の学校との連携を強化していく予定です。また、鹿児島廃校サミットを開催すべく、進めています。5月は財部森の学校を視察予定です。



8. 空き家バンクリサーチ

空き家バンク事業をオコソコからの委託でリサーチ部門を受け入れる準備として、空き家リサーチのフォーマット作成と、プレリサーチを行っています。福岡の九州産業大学の学生1名を受け入れ、リサーチの手伝いをしてもらいました。ゆくゆくは大学のゼミを一定期間受け入れ、活用提案まで繋げていけるように考えております。



地域おこし協力隊活動報告書

9. 都城出展、川内視察

都城でpaak-stockとマテリアルマーケットの2社が出展している連絡をうけ、視察に行きました。paak-stockは宮崎でリビセンのような活動を行い、空き家からでる物を見直す活動を、マテリアルマーケットは仏壇のパーツ販売を福岡で行っているところで、出展している状況を視察しました。また、川内ではSOKOKAKAKAや九電が関係しているセンノオトの視察を行い、場所の活用方法や新しいコンテンツについて考えました。



10. 茶とまるイベント企画

第二回の茶とまるの運営メンバーとして参画しました。今回は広報協力として関わっており、今後日南で行われているDENKENWEEKに繋げていけるよう、アートイベントを組み立てていきたいと考えております。

